



2005年度

連結業績概要

(2006年3月31日に終了した1年間)

Sony Corporation Investor Relations

このスライドに記載されている、ソニーの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものには限定されません。口頭または書面による見通し情報は、広く一般に開示される他の媒体にも度々含まれる可能性があります。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られたソニーの経営者の判断にもとづいています。実際の業績は、様々なリスクや不確実な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願いします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常にソニーが将来の見直しを見直すとは限りません。実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます。(1)ソニーの事業領域を取り巻く経済情勢、特に消費動向、(2)為替レート、特にソニーが極めて大きな売上または資産・負債を有する米ドル、ユーロまたはその他の通貨と円との為替レート、(3)継続的な新製品導入と急速な技術革新や、エレクトロニクス、ゲーム、映画分野および音楽ビジネスで顕著な、主観的で変わりやすい顧客嗜好などを特徴とする激しい競争の中で、顧客に受け入れられる製品やサービスをソニーが設計・開発し続けていく能力、(4)ソニーがエレクトロニクス分野および音楽ビジネスで人員削減やその他のビジネス事業再編を成功させられること、(5)ソニーがエレクトロニクス、映画、その他および音楽ビジネスにおいてネットワーク戦略を成功させられること、映画分野および音楽ビジネスでインターネットやその他の技術開発を考慮に入れた販売戦略を立案し遂行できること、(6)ソニーが主にエレクトロニクス分野において研究開発や設備投資に十分な経営資源を適切に集中させられること、(7)生命保険など金融商品における顧客需要の変化、および金融分野における適切なアセット・ライアビリティ・マネージメント遂行の成否、および(8)ソニーと他社との合併、提携の成否、などです。ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

FY05 業績ハイライト&トピックス

FY05 業績ハイライト

連結売上高は、主にゲームおよび金融分野の拡大により前年度比4%増収。営業利益は前年度比68%増の1,913億円。営業利益には、年金基金の代行返上益735億円(FY05のみの一時的利益)と構造改革費用1,387億円(前年度は900億円)を含む。

2006年度連結業績見通し:

売上高は、前年度比10%増収の8兆2,000億円。営業利益、税引前利益はともに48%減少し、それぞれ1,000億円、1,500億円。持分法による投資損益は、約3倍の400億円。当期純利益は5%増の1,300億円。

最近のトピックス



ソニーおよびサムスン電子は合弁会社S-LCDにおける第8世代LCD/パネル製造に関して基本合意した旨を発表。さらに、S-LCDは第7世代LCDパネルの月産能力を9万枚に拡大することを発表。
(ともに2006年4月)

ソニーは、デジタル一眼レフカメラの新ブランドをα:アルファとし、2006年夏より世界市場に製品を導入すると発表。コニカミノルタフォトイメージング株式会社のマウントシステムに準拠し、世界中で1,600万本以上販売されたレンズに対応したデジタル一眼レフカメラを開発・販売する。
(2006年4月)



ソニー・コンピュータエンタテインメント(SCEI)は、「プレイステーション 3」(PS3)を11月上旬に日本、北米、欧州の全世界市場に向けて発売すると発表。SCEIは、月産100万台規模の生産体制を早期に構築するとともに、魅力的なソフトウェアラインアップを揃えることにより、PS3プラットフォームの立上げを一気に推進する。
(2006年3月)

Sony Corporation Investor Relations 3

FY05 連結業績

(億円)

	FY04	FY05	前年度比	前年度 (LCベース*)
売上高および営業収入	71,596	74,754	+4.4%	+0%
営業利益	1,139	1,913	+67.9%	+23%
税引前利益	1,572	2,863	+82.1%	
持分法による投資利益(純額)	290	132	-54.6%	
当期純利益	1,638	1,236	-24.5%	
1株当り当期純利益(希薄化後)	158.07円	116.88円	-26.1%	
構造改革費用**	900	1,387	+487億円	
代行返上益**	-	735	-	

為替変動による業績への影響額

売上高および営業収入: 約 +2,894 億円
営業利益: 約 +514 億円

平均レート	FY04	FY05
1ドル	106.5円	112.3円
1ユーロ	133.7円	136.3円

* LCベース: 円と現地通貨との間には為替変動がなかったものと仮定した試算ベース(Local Currency Basis)

** 構造改革費用は営業費用に、代行返上益は営業利益にそれぞれ含まれる。

Sony Corporation Investor Relations 4

FY05 セグメント情報および関連会社業績

連結セグメント		(億円)			
		FY04	FY05	前年度比	前年度比 (LCベース*)
エレクトロニクス	売上高	50,668	51,505	+1.7%	-3%
	営業利益(損失)**	-343	-309	-	-
	うち、代行返上益	-	645	-	-
ゲーム	売上高	7,298	9,586	+31.4%	+27%
	営業利益	432	87	-79.7%	-62%
映画	売上高	7,337	7,459	+1.7%	
	営業利益	639	274	-57.1%	
金融	金融ビジネス収入	5,606	7,432	+32.6%	
	営業利益**	555	1,883	+239.4%	
その他	売上高	4,599	4,089	-11.1%	
	営業利益**	42	162	+286.4%	

* LCベース: 円と現地通貨との間を為替変動がなかったものと仮定した試算ベース(Local Currency Basis)

** 代行返上益を含む

主要持分法適用会社		04年4月-05年3月期	05年4月-06年3月期	前年度比
ソニー・エリクソン (百万ユーロ)	売上高	6,475	7,972	+23%
	税引前利益	460	595	+29%
ソニーBMG (百万ドル)	売上高	3,258	4,283	-
	税引前利益	-53	150	-

ソニー・エリクソンはエリクソン社、ソニーBMGはベルテルスマン社との間で、ソニーがそれぞれの50%の株式を保有する持分法適用会社です。ソニーBMGの前年同期は、2004年8月から2005年3月まで8ヶ月間の業績です。従って、前年同期比は記載していません。

Sony Corporation Investor Relations 5

FY06 連結業績見通し

		(億円)		
		FY05	FY06 見通し	前年度比
売上高および営業収入		74,754	82,000	+10%
営業利益		1,913	1,000	-48%
うち、構造改革費用		1,387	500	-64%
税引前利益		2,863	1,500	-48%
持分法投資利益(純額)		132	400	+204%
当期純利益		1,236	1,300	+5%
設備投資額		3,843	4,600	+20%
うち、半導体投資額		1,400	1,700	+21%
減価償却費*		3,818	4,100	+7%
研究開発費		5,318	5,500	+3%

為替レート FY05 実績レート FY06 前提レート

1ドル 112.3 円 113 円前後

1ユーロ 136.3 円 136 円前後

- エレクトロニクス分野は、液晶テレビや半導体などの貢献により、増収および大幅な損益改善を見込む。映画分野でも期待作の貢献などにより増収増益を見込む。
- 一方、ゲームはPS3ビジネス立ち上げにともない大幅な損失計上を見込む。金融も株式市場活況の恩恵を受けたFY05比で大幅減益。
- 持分法適用会社の損益改善により持分法利益が大幅に増加、当期純利益では増益を見込む。

* 減価償却費は、無形固定資産と繰延保険契約費の償却費を含む。

Sony Corporation Investor Relations 6

FY05 構造改革進捗報告

	目標数値 (2007年度末まで)	2005年度	
		1月時点見込	実績
連結営業利益率 % *	5%	2.3%	3.4%
エレクトロニクス営業利益率 % *	4%	-	0.6%

コスト削減 (億円)	2,000	330	380
製造拠点統廃合	65のうち 11	7	9
モデル数削減 **	-20%	Base Year	Base Year
人員削減	10,000	4,500	5,700

資産売却(億円)	1,200	600	780
----------	-------	-----	-----

進捗状況は予定通り

* 営業利益率：営業利益率は構造改革費用と代行返上益を除く
 ** モデル数削減：2005年度（Base Year）に対する2006年度の削減比率

Sony Corporation Investor Relations 7

11製造拠点集約プラン(2005/9/22発表)の進捗状況

既発表の7拠点に加え、2005年度中に対応が完了した2拠点

ソニーイーエムシーエス(株)木更津テック 岩根事業所

2006年1月 同テック 潮見事業所へ集約
 生産品目：DVDレコーダー、ホームオーディオ等

VAIO of America - Manufacturing <米・サンディエゴ>

2006年2月デスクトップPC量産終了⇒PC販売用 CTO(Configure To Order)拠点へ機能変更
 生産品目：PC

【ご参考～既発表の7拠点(2006年1月26日発表)】

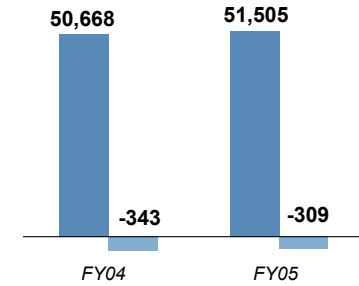
- ・Sony United Kingdom Limited-UK Technology (Bridgend)
- ・Beijing Suohong Electronics Co.,Ltd.
- ・ソニーイーエムシーエス(株)榊玉テック岩根事業所
- ・ソニーイーエムシーエス(株)榊玉テック坂戸事業所
- ・Sony Display Device Pittsburgh
- ・Sony Display Device San Diego
- ・American Video Glass Company (米・ピッツバーグ)

Sony Corporation Investor Relations 8

FY05 エレクトロニクス

売上高および営業利益(損失)

(億円)



FY05業績

売上高: 1.7%増加(外部顧客向け売上:0.9%減少)

- 増収: 液晶テレビ、液晶リアプロジェクションテレビ
- 減収: ブラウン管テレビ、プラズマテレビ

営業損失: 33億円改善

構造改革費用: 1,258億円計上(FY04: 832億円)

代行返上益: 645億円計上

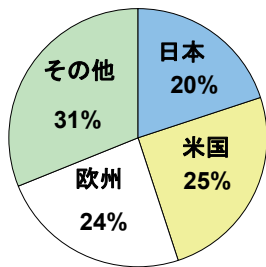
前年度比 (LC)

項目	前年度比	(LC)
売上高	+1.7%	-3%
営業利益(損失)	-	-

セグメント間取引を含む / LC: 現地通貨試算ベースの伸び率

Sony Corporation Investor Relations 9

FY05 エレクトロニクス地域別売上










営業収入を除く
外部顧客に対する売上
47,327 億円 -1% (LC -5%)

- 日本: -12%**
 - 増収: 液晶テレビ、HDD/フラッシュメモリー内蔵型「ウォークマン®」
 - 減収: 携帯電話端末、ブラウン管テレビ、CD/MD「ウォークマン」、プラズマテレビ
- 米国: -1% (LC-7%)**
 - 増収: 液晶テレビ、液晶リアプロジェクションテレビ
 - 減収: ブラウン管テレビ、プラズマテレビ、ブラウン管プロジェクションテレビ、デジタルカメラ
- 欧州: -4% (LC -7%)**
 - 増収: 液晶テレビ
 - 減収: ブラウン管テレビ、プラズマテレビ
- その他: +11% (LC +2%)**
 - 増収: 液晶テレビ、携帯電話用カメラモジュール
 - 減収: 光学ヘッド、ブラウン管テレビ

円グラフは地域別売上高構成比(円ベース) / 営業収入を除く外部顧客に対する売上

Sony Corporation Investor Relations 10

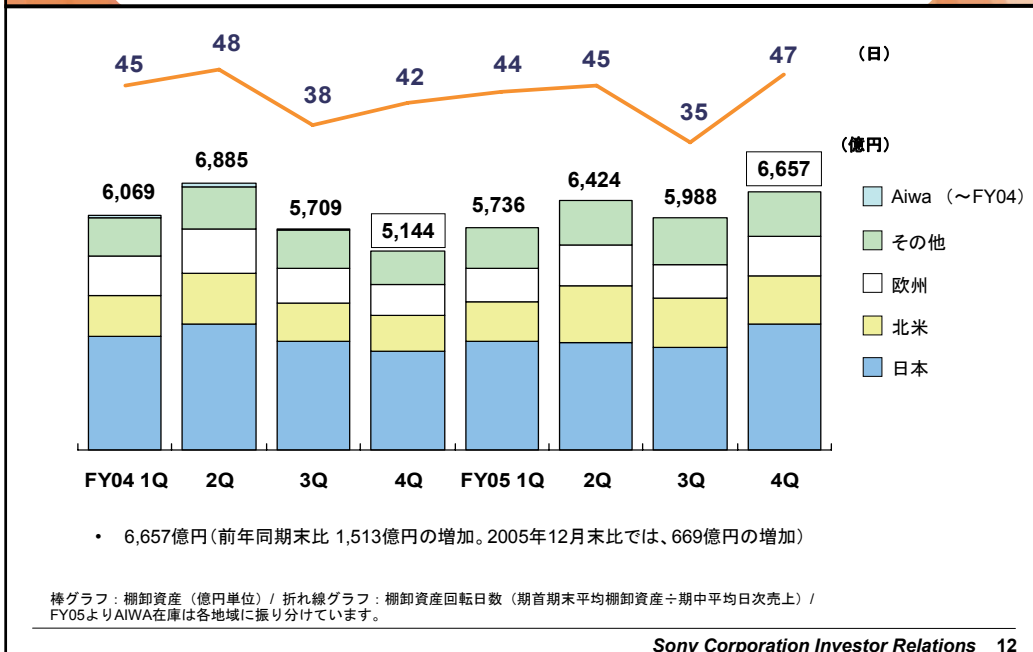
FY05 エレクトロニクス(製品カテゴリー別)

売上高および営業利益(損失)		FY04	FY05	前年度比	(億円)
 オーディオ	売上高	5,722	5,365	-6.2%	AV&IT 売上高 3兆3,479億円(-1%) 営業損益 375億円(255億円増加) ・(+)要因:ビデオカメラ、PC「バイオ」、放送機器、ホームオーディオ ・(-)要因:ブラウン管テレビ、液晶テレビ
	営業利益(損失)	-24	27		
 ビデオ	売上高	10,457	10,259	-1.9%	
	営業利益	254	793	+212.2%	
 テレビ	売上高	9,292	9,314	+0.2%	
	営業利益(損失)	-240	-898		
 情報・通信	売上高	8,234	8,541	+3.7%	
	営業利益	130	453	+247.1%	
 半導体	売上高	5,805	6,253	+7.7%	半導体&コンポーネント 売上高 1兆4,526億円(+9%) 営業損益 -213億円(263億円悪化) ・(-)要因:イメージセンサー、低温ポリシリコン液晶
	営業利益(損失)	-99	-532		
 コンポーネント	売上高	7,538	8,273	+9.7%	
	営業利益	149	319	+113.3%	
 その他	売上高	8,128	7,969	-2.0%	
	営業利益	410	376	-7.8%	

カテゴリー間取引を含む

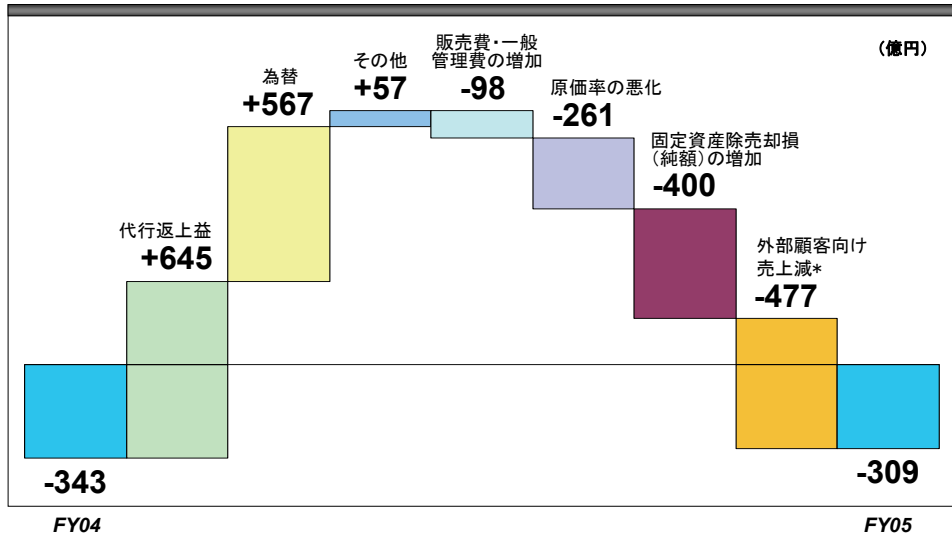
Sony Corporation Investor Relations 11

エレクトロニクス連結棚卸資産(地域別)



Sony Corporation Investor Relations 12

FY05 エレクトロニクス営業利益増減要因



* 外部顧客向け売上に対する粗利減

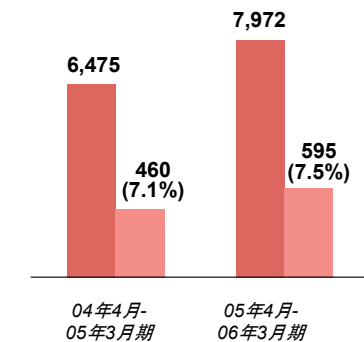


ソニー・エリクソン

持分法適用会社

売上高および税引前利益

(百万ユーロ)



05年4月 - 06年3月期業績

- 売上高は、前年度比23%増、税引前利益は29%増。
- 出荷台数: 28%増の5,510万台。
- オートフォーカス機能付き2メガピクセル・カメラ付き携帯 K750、ウォークマン®携帯のW800、3G対応端末K600などが業績に貢献
- 2006年の世界の市場規模: 従来2005年(7億8,000万台)に比べ10%の増加を見ていたが、予想を上回るペースで成長している現状に鑑み、約15%増の9億台超を見込む

ソニー持分への影響額

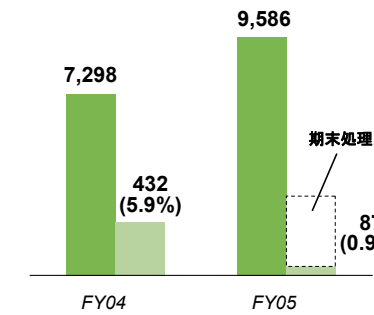
	04年4月-05年3月期	05年4月-06年3月期	前年同期比
当期純利益(百万ユーロ)	267	433	+62%
ソニー持分への影響額(億円)	174	290	+67%

営業利益下の(%)は営業利益率

FY05 ゲーム

売上高および営業利益

(億円)



FY05業績

売上高:

- ハードウェア: PS2は欧米中心に引き続き堅調
PSPは日・米・欧の全地域で順調に普及

- ソフトウェア: PSPソフトウェアの売上が貢献

営業損益: PS2・PSP等ビジネスによる利益は600億円以上
一方で期末処理に伴い500億円以上費用計上

棚卸資産額: 1,134億円(前年度末比46.3%増)
PSPの全世界展開に伴う純増

ハード・ソフト生産出荷数量

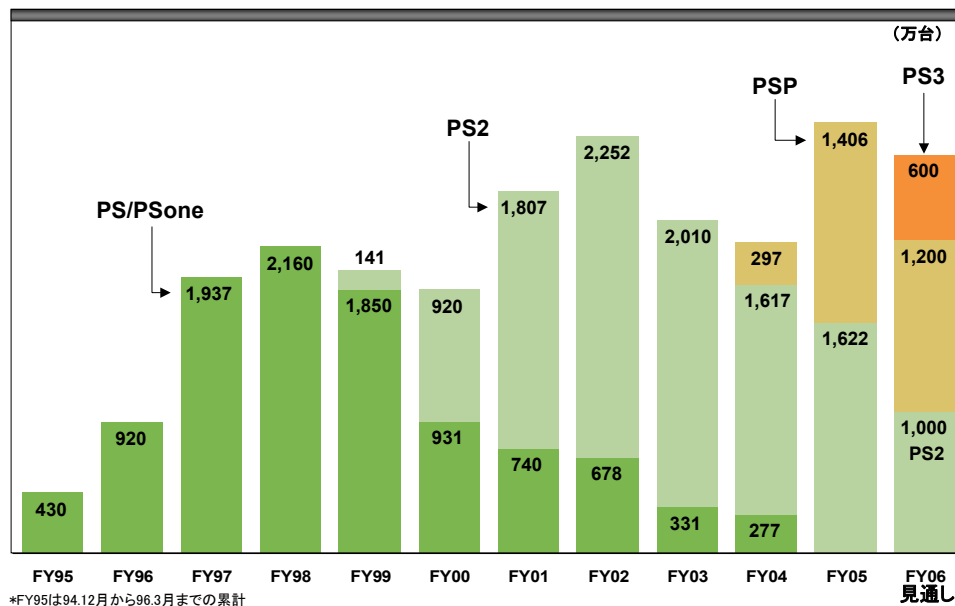
		FY04	FY05	前年度比
ハード(万台)	PS2	1,617	1,622	+0%
	PSP	297	1,406	+373%
ソフト(万本)	PS2	25,200	22,300	-12%
	PSP	570	4,160	+630%

	前年度比	(LC)
売上高	+31.4%	+27%
営業利益	-79.7%	-62%

セグメント間取引を含む / LC: 現地通貨試算ベースの伸び率

Sony Corporation Investor Relations 15

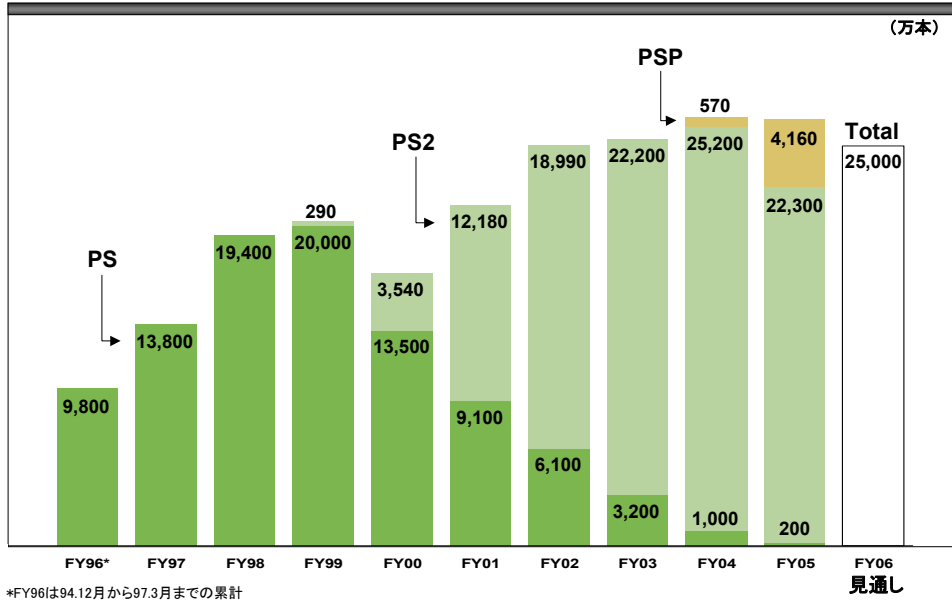
PlayStation ハード生産出荷台数 & 見通し



*FY95は94.12月から96.3月までの累計

Sony Corporation Investor Relations 16

PlayStation ソフト生産出荷本数&見通し

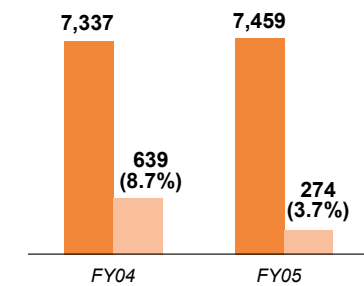


Sony Corporation Investor Relations 17

FY05 映画

売上高および営業利益

(億円)



FY05業績

- 売上高: 円高の影響で1.7%増加
- 米ドルベースでは減収
 - 映画の劇場興行収入、DVD/VHSソフト売上の世界的な減少
 - 前年度に「スパイダーマン2」が大きく貢献
- 営業利益: 上記要因により減少

前年度比 (US\$)

売上高	+1.7%	-4%
営業利益	-57.1%	-61%

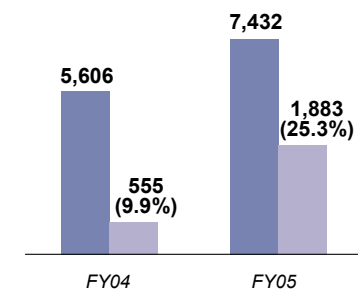
セグメント間取引を含む / US\$: SPEの米ドルベースの伸び率 / 営業利益下の(%)は営業利益率

Sony Corporation Investor Relations 18

FY05 金融

金融ビジネス収入および営業利益

(億円)



FY05業績

金融ビジネス収入:

- (+) 要因: ソニー生命の増収
 - 株式市況の好転などによる運用損益の改善
 - 保有契約高の伸びに伴う保険料収入増加

営業利益:

- (+) 要因: ソニー生命において、転換社債の株式転換権の評価損益が改善し、一般勘定の運用損益が大幅に改善

ソニー生命の業績

	FY04	FY05	前年度比
収入(億円)	4,743	6,450	+36%
営業利益(億円)	610	1,884	+209%

	前年度比
金融ビジネス収入	+32.6%
営業利益	+239.4%

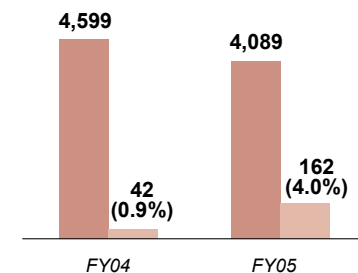
セグメント間取引を含む / 営業利益下の(%)は営業利益率

Sony Corporation Investor Relations 19

FY05 その他

売上高および営業利益

(億円)



FY05業績

SMEIの音楽出版事業およびSMEJの業績を含む

売上高:

- 前年度の売上高には、持分法適用会社ソニーBMGに統合されたSMEIの音楽制作事業の売上が4ヵ月分含まれていた
- SMEJの売上は前年度比ほぼ横ばい

営業利益:

- 前年度にSMEIの音楽制作事業が損失を計上していたこと、およびSMEJの好調な業績により増益

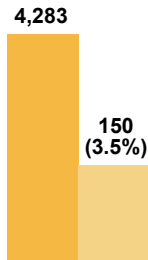
	前年度比
売上高	-11.1%
営業利益	+286.4%

セグメント間取引を含む / 営業利益下の(%)は営業利益率

Sony Corporation Investor Relations 20

売上高および税引前利益

(百万ドル)



05年4月-06年3月期*

*ソニーBMGは2004年8月に設立されました。その結果、比較可能な前年度の業績数値が存在しません。

売上高
税引前利益

05年4月 - 06年3月期業績

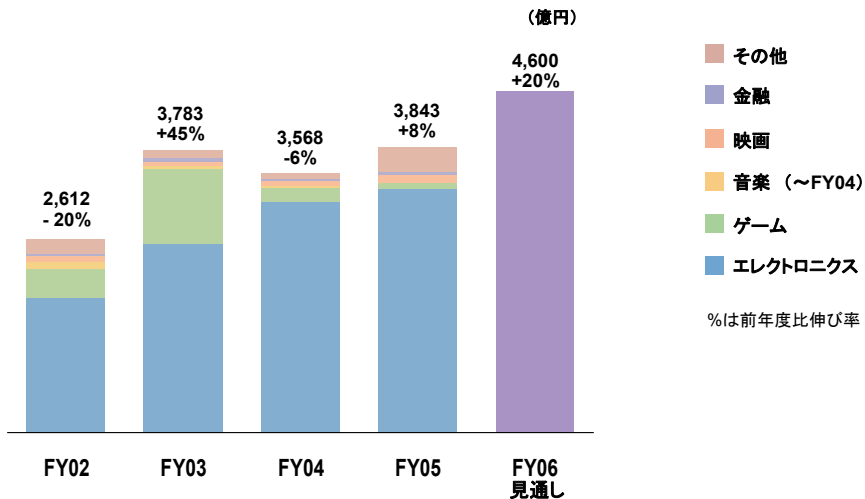
- 売上高は42億8,300万米ドル、税引前利益は1億5,000万米ドル(構造改革費用1億8,600万米ドル含む)
- 税引前利益: 構造改革費用減少およびコスト削減の効果
- 当期純利益は9,500万米ドル
- ソニーの持分法による投資利益は58億円

ソニー持分への影響額

	05年4月-06年3月期
当期純利益(百万ドル)	95
ソニー持分への影響額(億円)	58

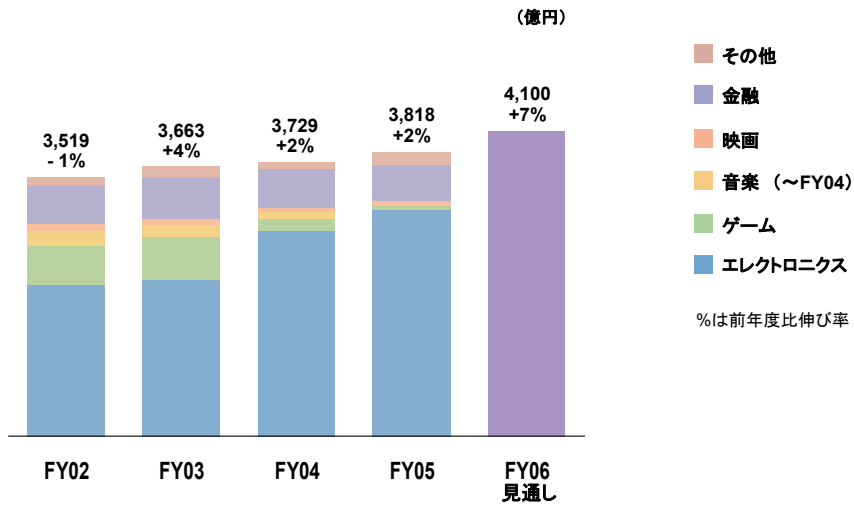
営業利益下の(%)は営業利益率

FY06 設備投資額見通し



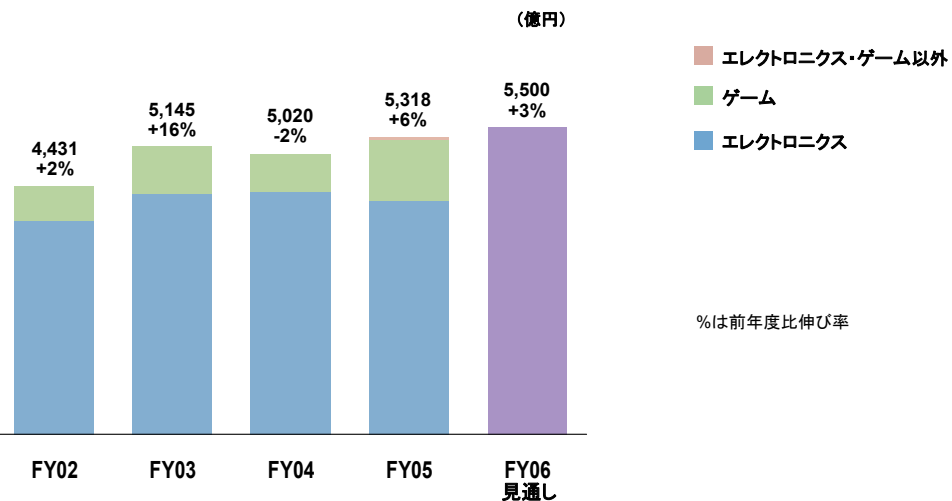
- FY06設備投資額見通しのうち、半導体向けは1,700億円(前年度1,400億円)

FY06 減価償却費見通し



・ FY06減価償却費見通しのうち、有形固定資産分は3,400億円(前年度3,105億円)

FY06 研究開発費見通し



FY05.4Q 連結業績

(億円)				
	FY04.4Q	FY05.4Q	前年同期比	前年同期比 (LCベース*)
売上高および営業収入	16,970	18,454	+8.7%	+2%
営業利益(損失)	-774	-622	-	-
税引前利益(損失)	-619	-479	-	-
持分法による投資利益(純額)	5	54	+1,067%	
当期純利益(損失)	-565	-665	-	-
1株当り当期純利益(損失)(希薄化後)	-59.40 円	-66.48 円	-	-
構造改革費用**	486	753	+267 億円	

為替変動による業績への影響額		平均レート	FY04.4Q	FY05.4Q
売上高および営業収入:	約 +1,198億円	1ドル	103.5 円	115.9 円
営業利益:	約 +164億円	1ユーロ	135.4 円	139.2 円

* LCベース: 円と現地通貨との間には為替変動がなかったものと仮定した試算ベース(Local Currency Basis)
** 構造改革費用は営業費用に含まれる

Sony Corporation Investor Relations 25

FY05.4Q セグメント情報および関連会社業績

(億円)					
連結セグメント		FY04.4Q	FY05.4Q	前年同期比	前年同期比 (LCベース*)
エレクトロニクス	売上高	11,838	12,163	+2.7%	-5%
	営業利益(損失)	-1,005	-919	-	-
ゲーム	売上高	2,221	1,523	-31.4%	-35%
	営業利益(損失)	15	-614	-	-
映画	売上高	1,906	2,404	+26.1%	
	営業利益	137	302	+119.9%	
金融	金融ビジネス収入	1,561	2,231	+42.9%	
	営業利益	163	793	+386.5%	
その他	売上高	963	1,016	+5.5%	
	営業利益(損失)	-64	-103	-	

主要持分法適用会社		05年1-3月期	06年1-3月期	前年同期比
ソニー・エリクソン (百万ユーロ)	売上高	1,289	1,992	+55%
	税引前利益	70	151	+115%
ソニー-BMG (百万ドル)	売上高	962	864	-10%
	税引前利益	-62	-20	-








* LCベース: 円と現地通貨との間には為替変動がなかったものと仮定した試算ベース(Local Currency Basis)

ソニー・エリクソンはエリクソン社、ソニー-BMGはベルテルスマン社との間で、ソニーがそれぞれの50%の株式を保有する持分法適用会社です。

Sony Corporation Investor Relations 26

FY05.4Q エレクトロニクス(製品カテゴリー別)

(億円)

売上高および営業利益(損失)		FY04.4Q	FY05.4Q	前年同期比	
 オーディオ	売上高	1,065	1,048	-1.7%	AV&IT 売上高 8,193億円(+9%) 営業損益 -25億円(267億円改善)
	営業利益(損失)	-100	-82		
 ビデオ	売上高	2,098	2,108	+0.5%	
	営業利益(損失)	-101	90		
 テレビ	売上高	2,162	2,471	+14.3%	
	営業利益(損失)	-165	-122		
 情報・通信	売上高	2,163	2,566	+18.6%	
	営業利益	74	89	+20.5%	
 半導体	売上高	1,477	1,294	-12.4%	半導体&コンポーネント 売上高 3,243億円(-1%) 営業損益 -196億円(23億円改善)
	営業利益(損失)	-189	-225		
 コンポーネント	売上高	1,812	1,949	+7.6%	
	営業利益(損失)	-30	29		
 その他	売上高	2,298	1,626	-29.2%	
	営業利益	77	49	-39.8%	

カテゴリー間取引を含む

Sony Corporation Investor Relations 27